

「多くの出会いから…」

生徒の皆さん、保護者の皆様、そして地域の皆様、今回は、前回に続いて、5月下旬以降、先週実施した鳴高祭までの、生徒の皆さんの様子や学校の取組などについてお伝えします。

【演劇の専門家から学ぶ】

5月下旬から、3年生の総合的な探究の時間を活用し、専門家を招いて、6月の鳴高祭で披露する演劇の指導をお願いしました。思考力を備えた自己表現力がテーマです。本番さながらの様子を垣間見て「生徒にとって幸せな時間だなあ」と、つくづく感じました。



【中学生が高校で過ごす】

6月1日（木）に、学文中学校の生徒の皆さんが、トライやる・ウィークのために来校。図書室の仕事や印刷などを手伝ってくれました。天候の影響で次の日は行えず残念でしたが、大人の皆さんと接する時間…緊張したでしょ。でも、これも、経験の一つですね！



【教育実習生から教わる】

5月下旬から2～3週間かけて、本校の卒業生4名が教育実習を行いました。写真は、体育館で実技指導をしているところです。「生徒に助けられて…」と言いながら熱心に取り組む姿勢は、生徒達にもプラスに働いているように感じます。お互いの成長に、感謝！



【スマホで防災を感じる】

6月13日（火）に総合人間類型の2年生が、外部講師による「災害時にスマホを使い情報を集め、安全な行動について考えるグループワーク」を体験。生徒は貸与のスマホもすぐ使いこなしますが、正確な情報収集は別のようです。その気づきを、今後も大切に！



【鳴高祭をみんなで創る】

6月15日（木）、16日（金）に「満改」（満足のいく思い出と改革の決意）をテーマに実施しました。3年の演劇は、俳優・声優が息を合わせた演技を披露。1年の展示や2年の参加型展示、教科や部の発表など…保護者や来賓の皆様にもご覧いただきました。教室とは違う姿を見ることができ、ルールの中ではじけている生徒達のことを素晴らしいと感じ、嬉しい気持ちで一杯になりました。



鳴高祭では、校内が終日にぎやかでしたので、地域の皆様のご協力に、心よりお礼を申し上げます。来週の28日（水）から、期末考査です。（校長 黒河内雅典）